

平成28年1月19日（火）に北海道立教育研究所において、第7回共同研究推進委員会を開催しました。

第15次共同研究の研究内容に係る加盟機関及び域内における実践の発表を4機関が行った後、研究の普及・還元について協議を行いました。



【共同研究推進委員による実践発表の様子】

【実践発表の観点】

- ①「授業改善のための支援」
- ②「校内研究活性化に向けた支援」
- ③「教員研修の充実に関する支援」

＜発表内容＞

- ①目的やねらいを踏まえた校内研究の充実に向け、学校訪問の際に、ワークショップ型の研修手法を紹介したり、全体研修で活用できる研修の進め方についてアドバイスしたりするなどの支援を行っている。（胆振教育研究所）
- ②モデルとなる授業の映像コンテンツを制作・提供したり、インターネット回線を利用した遠隔学習を実施したりするなどの、授業づくりの支援を行っている。（岩見沢市立教育研究所）



【第15次共同研究の普及・還元についての協議の様子】

【協議の柱】

平成28年度における共同研究の普及・還元について

- ①学校の授業改善を支援する研究所・センターの取組
- ②学校の校内研究を支援する研究所・センターの取組
- ③教員研修を改善する取組

＜協議内容＞

- ・学校の授業改善を支援するため、若手教員を対象とした授業づくり等の研修講座の開設が必要である。
- ・学校の校内研究を支援するため、研究担当者を対象とした研究相談及び担当者同士の交流の機会を設ける必要がある。
- ・学校が必要とする情報を提供できるよう、教育研究所・研修センター及び各学校の取組をホームページに掲載するなど、お互いに情報を共有できるように工夫する必要がある。